

SHOW HEY シネマルーム

★★★★★

ソードフィッシュ (SWORDFISH)

2001 (平成13) 年11月25日鑑賞

Data

監督：ドミニク・セナ

出演：ジョン・トラボルタ／ヒュー・ジャックマン／ハル・ベリー

👁️👁️ みどころ

これは何ともし難い映画。テロリスト集団を支援する「テロ国家」に対して武力で対抗する秘密武装組織—そんな思ってもみない設定はスリリング。ジョン・トラボルタの悪役ぶりが圧倒的な存在感。ハッカーの威力も絶大。一級品の出来ばえだ。

＜銀行強盗の規模のデカさ＞

これは1999年、「マトリックス」を製作したジョエル・シルバーの製作とのこと。「マトリックス」は若者に大ヒットし、数々のオスカーに輝いたが、私はこの映画は全然好きではない。特撮が有名だが、特に面白いとは思わなかった。しかし、この「ソードフィッシュ」は無茶苦茶面白かった。

資金稼ぎのため大規模な銀行強盗と人質作戦を展開するジョン・トラボルタ扮するガブリエルと、天才ハッカーのスタンリー（ヒュー・ジャックマン）の2人の主人公に、DEA（連邦麻薬捜査局）の捜査官を名乗る謎の女性ジンジャー（ハル・ベリー）の3人が物語の中心。そしてスタンリーを追うサイバー犯罪取締官のロバーツ（ドン・チードル）との知的ゲームやアクションが絡み、さらに謎のライズマン上院議員が登場してくる。

これらの人物が複雑に絡み合い、誰が味方で誰が敵か、そして誰が悪役なのかがはっきりわからないまま、複雑な人間関係と派手なアクションが展開される。

＜国際的スパイ組織とテロ国家＞

終わり近くになって、やっとガブリエルは元モサド（イスラエル中央情報局）のメンバ

ーで、その組織のエリートスパイだったことがわかる。そしてガブリエルを殺そうとしたライズマン上院議員は、国際的なテロリスト集団を援助している「テロ国家」に対して、武力で対抗しようとする秘密武装組織の有力メンバーであり、ガブリエルはライズマン上院議員の指示を受けてテロ国家を攻撃するための軍資金を調達するため、ジンジャーのハッカーとしての技術を利用して銀行を襲ったということもわかる。

調達された資金と軍事力で現実にはテロリストの船が爆破されるシーンを見ると、つい、9.11のニューヨークでの同時多発テロ事件と結びつけて、ゾッとしてしまうほどの迫力と真実味がある。

もともと、映画を観ていても正確には人間関係やいろいろな組織の内容・目的などはわからない。しかしそのような点の理解が不十分であっても、この映画のアクションにみる肉体的な興奮と、知的ゲームの展開にみる知的興奮は一級品だ。

紅一点のハル・ベリーの魅力もなかなかのものだが、いかんせん出番が少ない。何といってもどっしりした存在感を見せて魅力たっぷりなのが、ジョン・トラボルタ。

彼は1977年の「サタデーナイトフィーバー」でフィーバーした時の面影はほとんどなく、今や、黒いスーツとサングラスが最もよく似合う悪役がはまり役となっている。97年の「マッドシティ」や「フェイス・オフ」などと同じ役柄だ。

とにかくこれは大人が楽しめる一級品だ。

2001（平成13）年11月30日記